

経営比較分析表（令和2年度決算）

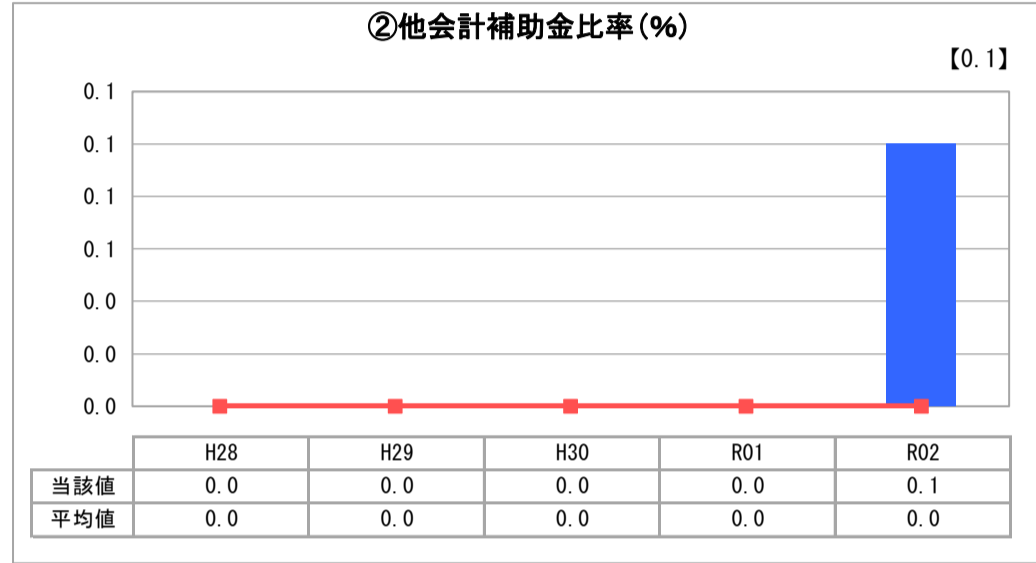
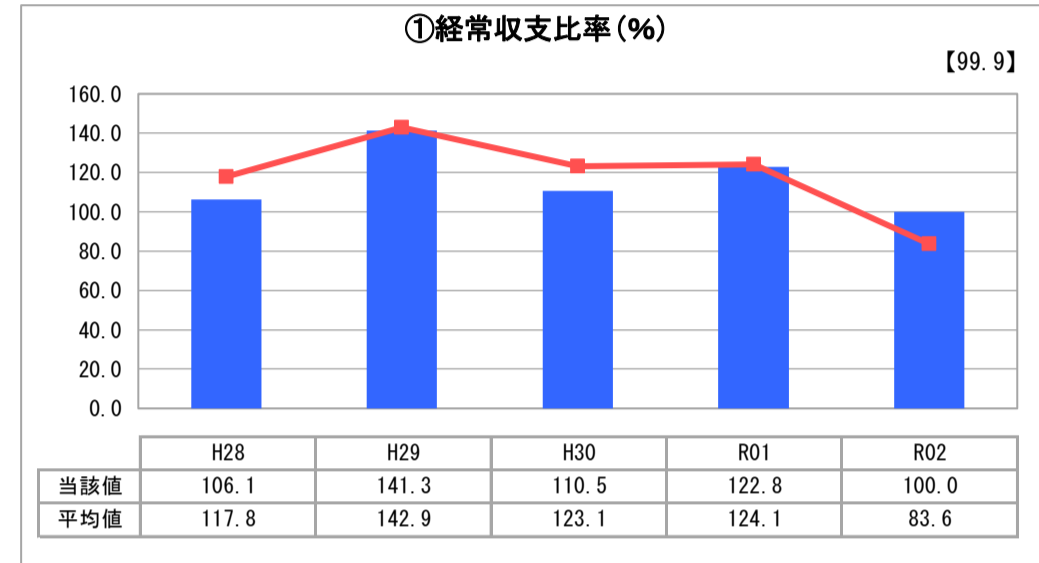
熊本県 熊本県営有料駐車場

| | | | | |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似施設区分 | 管理者の情報 |
| 法適用 | 駐車場整備事業 | - | A1B1 | 非設置 |
| 自己資本構成比率(%) | 種類 | 構造 | 建設後の経過年数(年) | |
| 98.7 | 届出駐車場 | 立体式 | 41 | |

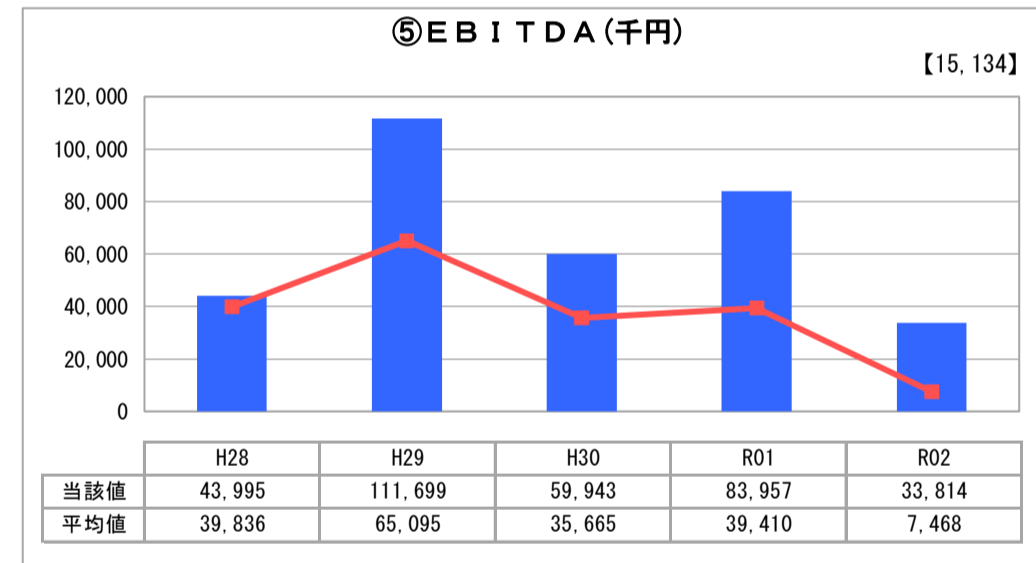
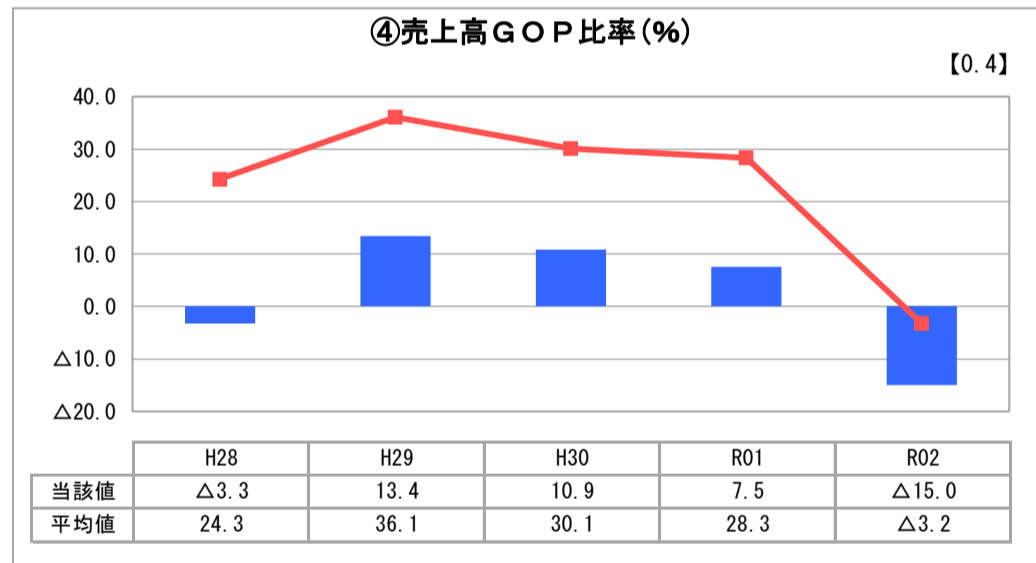
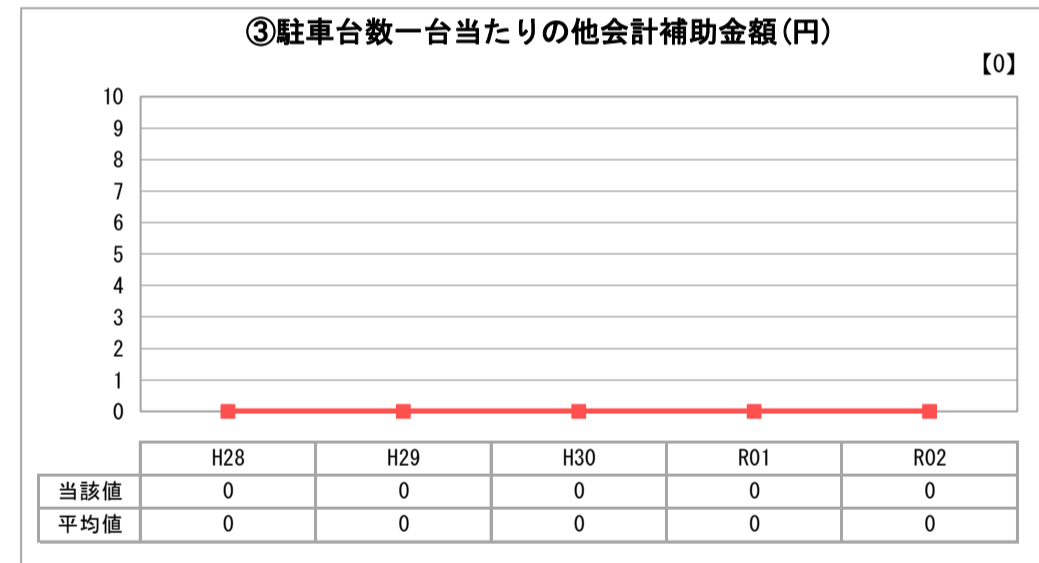
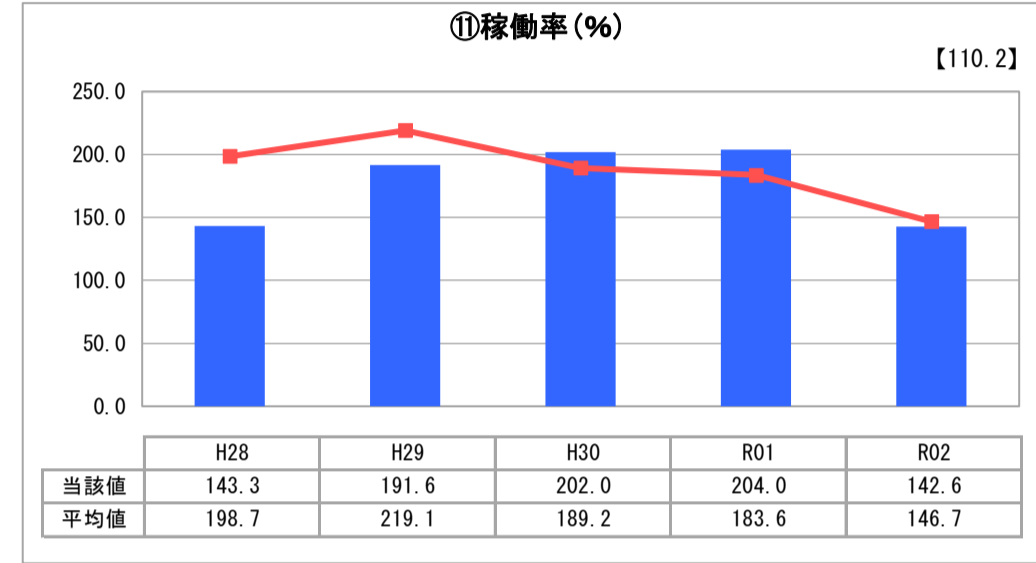
| | | |
|---------|----------------|--------------------------|
| 立地 | 周辺駐車場の需給実態調査 | 駐車場使用面積(m ²) |
| 商業施設 | 無 | 8,523 |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入 |
| 298 | 200 | 利用料金制 |

| |
|----------------|
| グラフ凡例 |
| ■ 当該施設値(当該値) |
| — 類似施設平均値(平均値) |
| 【】 令和2年度全国平均 |

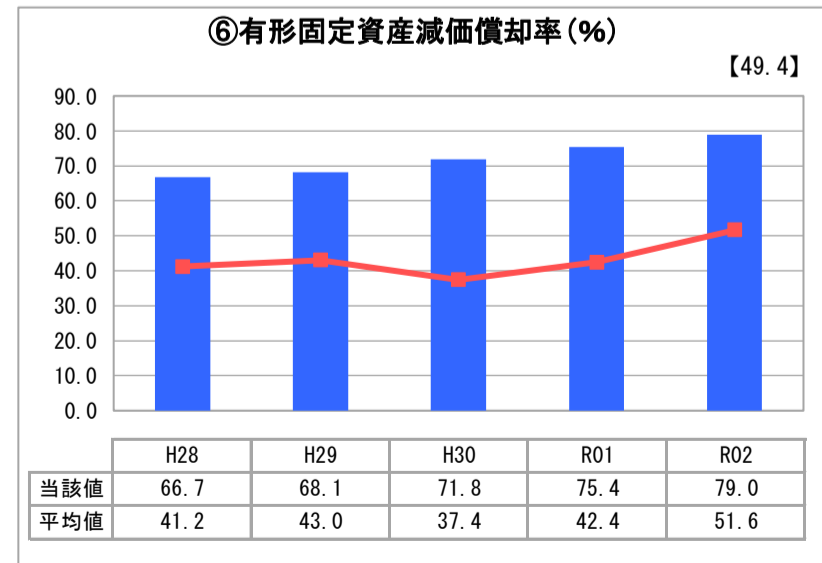
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

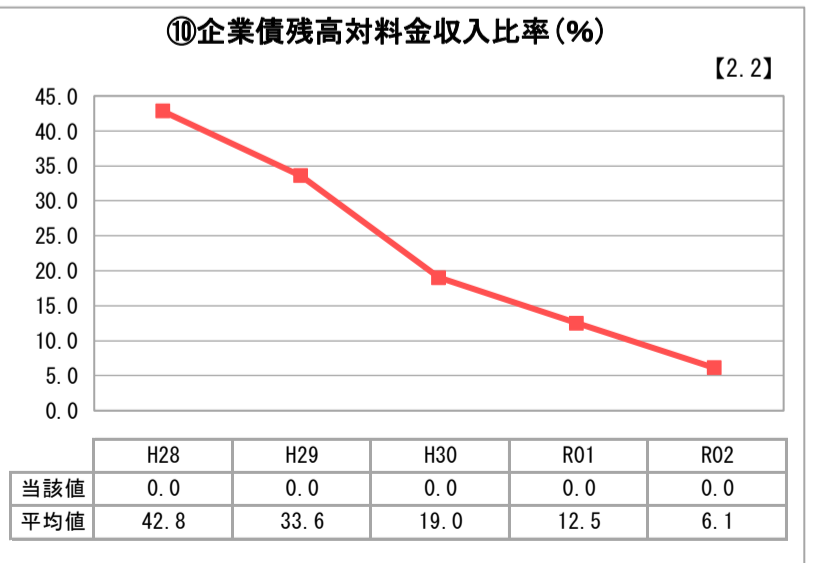
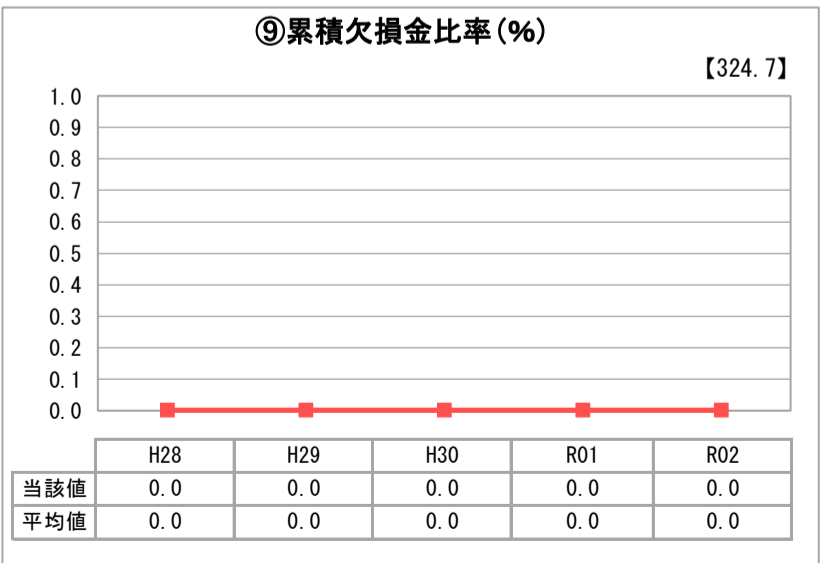


⑧ 敷地の地価(千円)

1,286

⑨ 設備投資見込額(千円)

142,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 【県営有料駐車場】
 (自走式立体駐車場、時間貸し・定期貸し)
 新型コロナウイルス感染症の影響による利用台数の減少等により、各指標とも概ね前年度より減少している。
 ● 経常収支比率
 前年度に比べ減少したものの100%は維持した。
 ● 他会計補助金比率
 繰出基準の繰入を除き、完全な独立採算で運営している。R2年度は児童手当に係る経費の繰入あり。
 ● 売上高GOP(営業利益)比率
 修繕費(営業費用)の増により前年度に比べ減少した。
 ● EBITDA(減価償却前営業利益)
 修繕費の増により前年度に比べ減少したが、平均値を大きく上回る数値で推移している。

2. 資産等の状況について
 ● 有形固定資産減価償却率
 建設から40年が経過。有形固定資産減価償却率は年々増加しており、全国平均を上回る79.0%となっている。なお、平成30年度に施設の保全計画を策定しており、今後も計画に基づく維持管理を実施していく。
 ● 企業債残高対料金収入比率
 企業債残高はなく、自己資金により運営を行っている。

3. 利用の状況について
 ● 稼働率
 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用台数が大幅に減少し、類似施設平均値を下回った。
 なお、平成28年度に稼働率が低下している理由は、熊本地震の発生により施設・設備の安全確認のため43日間休業したことや、被害箇所復旧等のため一部駐車スペースの制限を行ったことによるものである。

全体総括
 有料駐車場は、平成28年度から指定管理者制度(利用料金制)を導入し、民間企業のノウハウを活用した運営を行っている。導入以降、平成28年度の熊本地震による被災はあったものの安定した収益を確保していた。
 しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少。このため、施設内での感染対策を講じつつ、継続した広告活動や、「GoToトラベル事業 地域共通クーポン」の導入など利用促進に取り組んだ。
 今後も指定管理者と連携し、健全な経営に努めたい。

経営比較分析表（令和2年度決算）

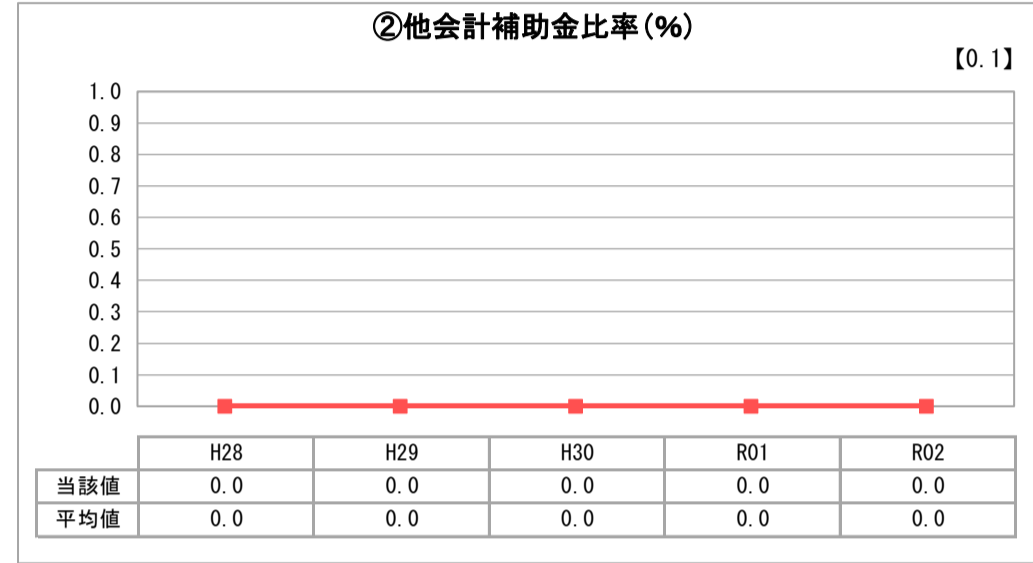
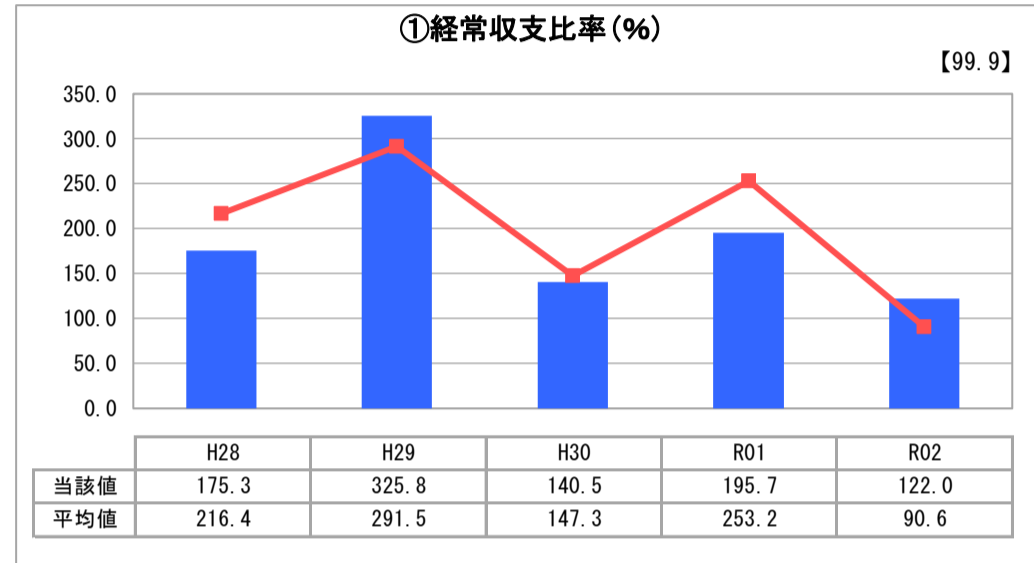
熊本県 熊本県営第二有料駐車場

| | | | | |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似施設区分 | 管理者の情報 |
| 法適用 | 駐車場整備事業 | - | A3B2 | 非設置 |
| 自己資本構成比率(%) | 種類 | 構造 | 建設後の経過年数(年) | |
| 98.7 | その他駐車場 | 広場式 | 29 | |

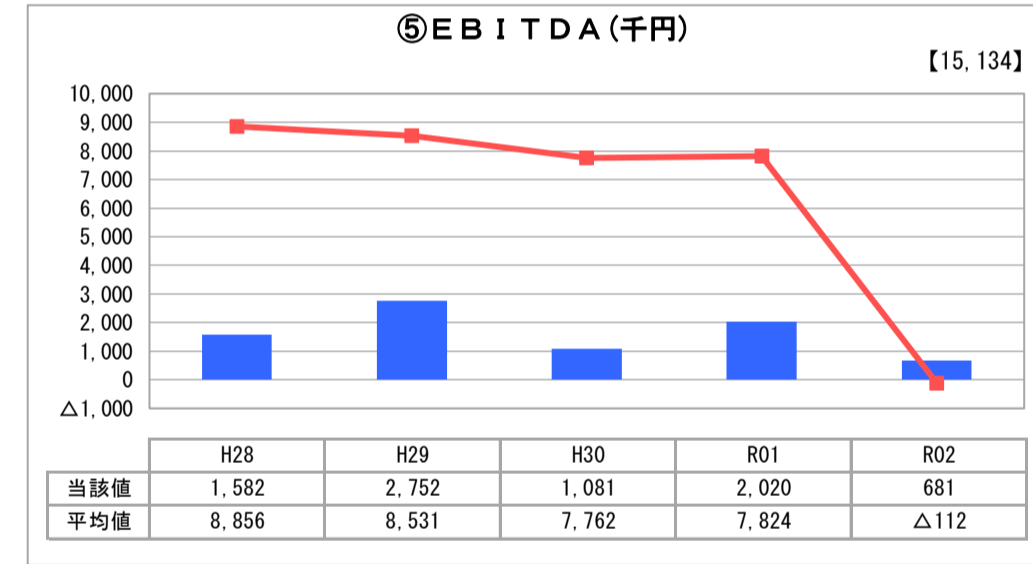
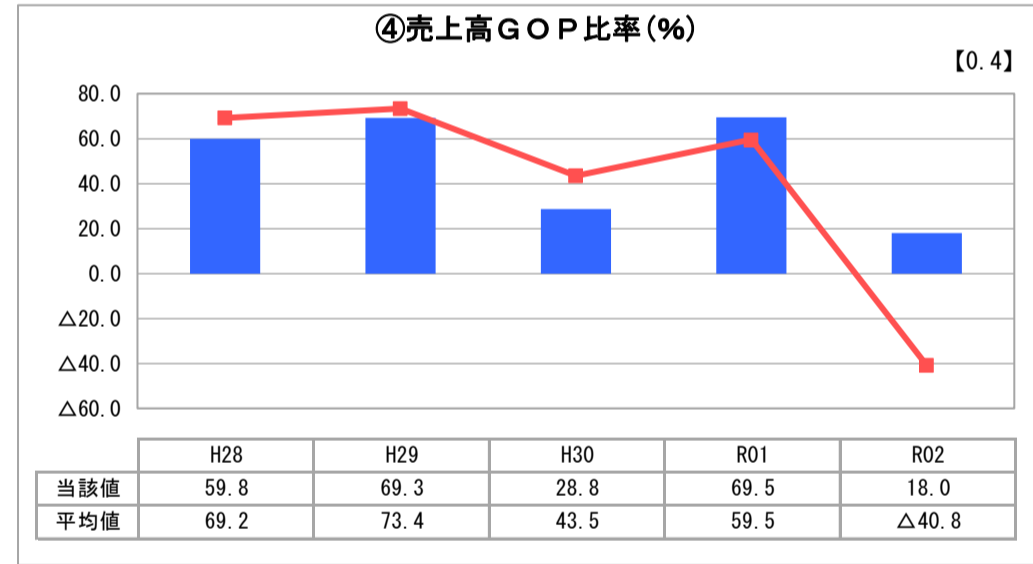
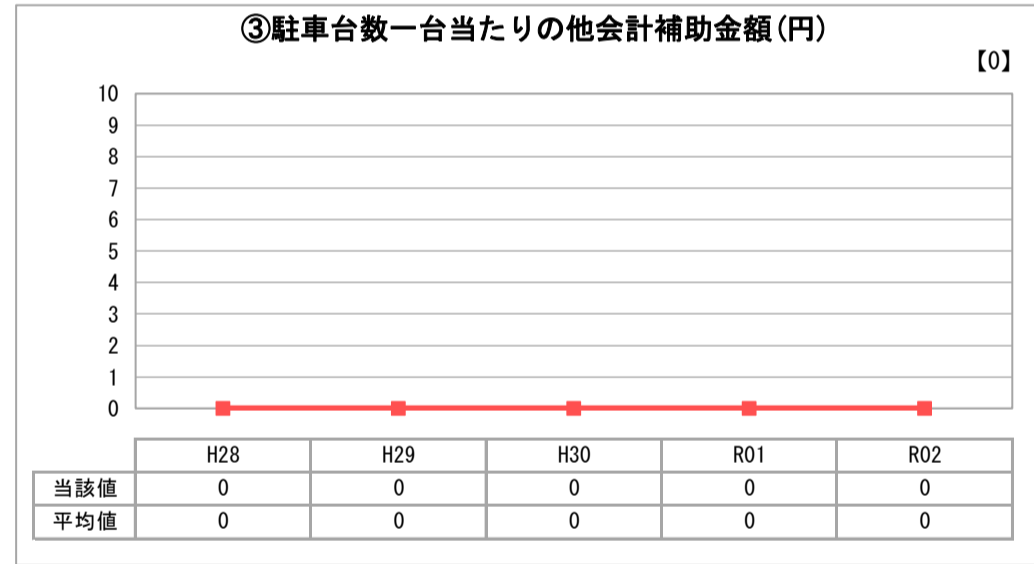
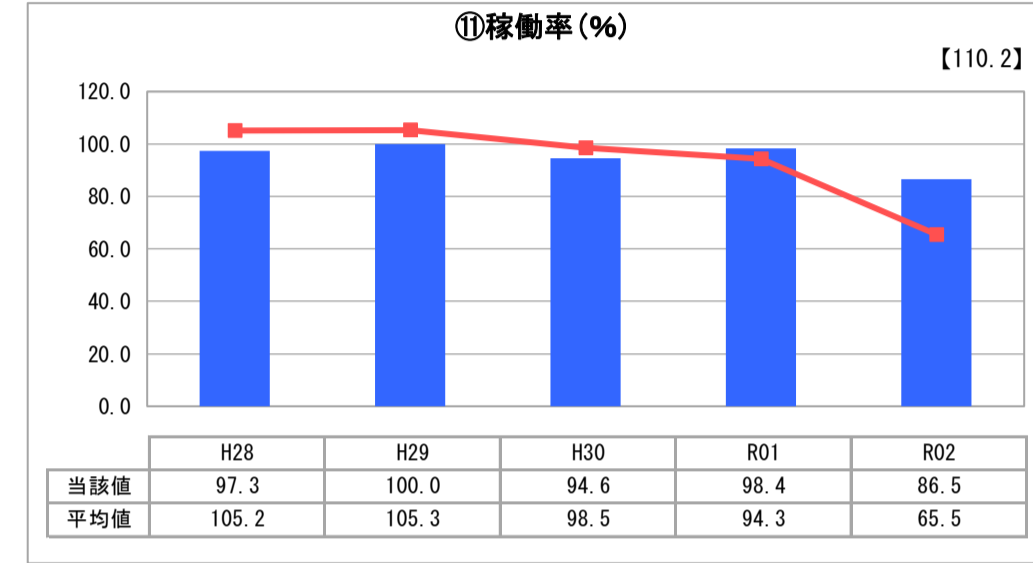
| | | |
|---------|----------------|--------------------------|
| 立地 | 周辺駐車場の需給実態調査 | 駐車場使用面積(m ²) |
| 無 | 無 | 932 |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入 |
| 37 | 15 | 利用料金制 |

| |
|----------------|
| グラフ凡例 |
| ■ 当該施設値(当該値) |
| — 類似施設平均値(平均値) |
| 【】 令和2年度全国平均 |

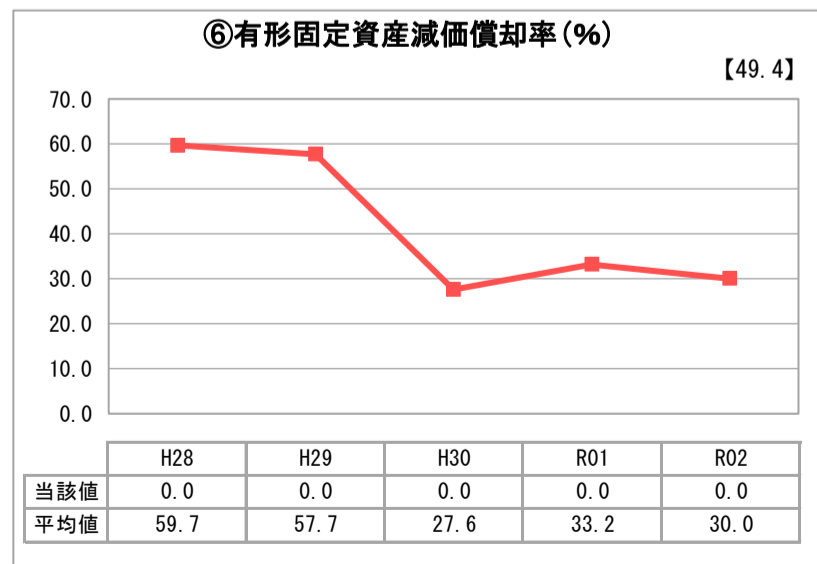
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

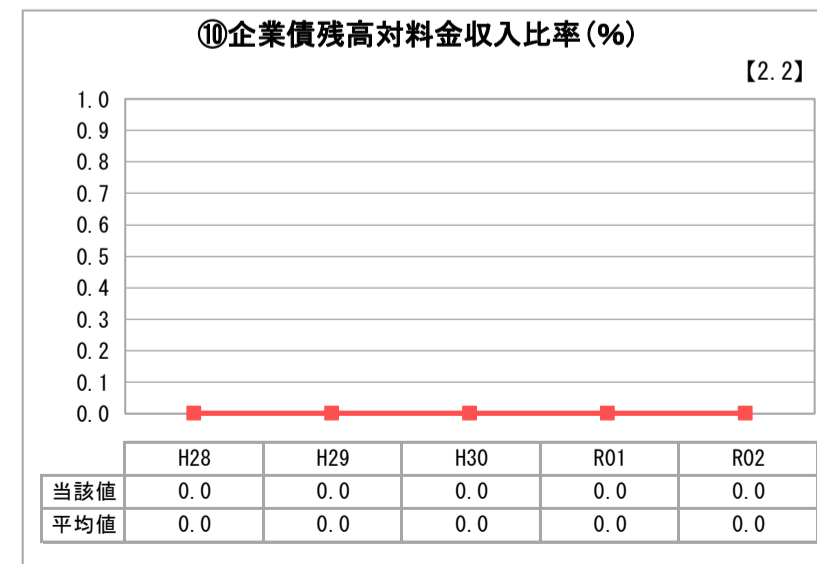
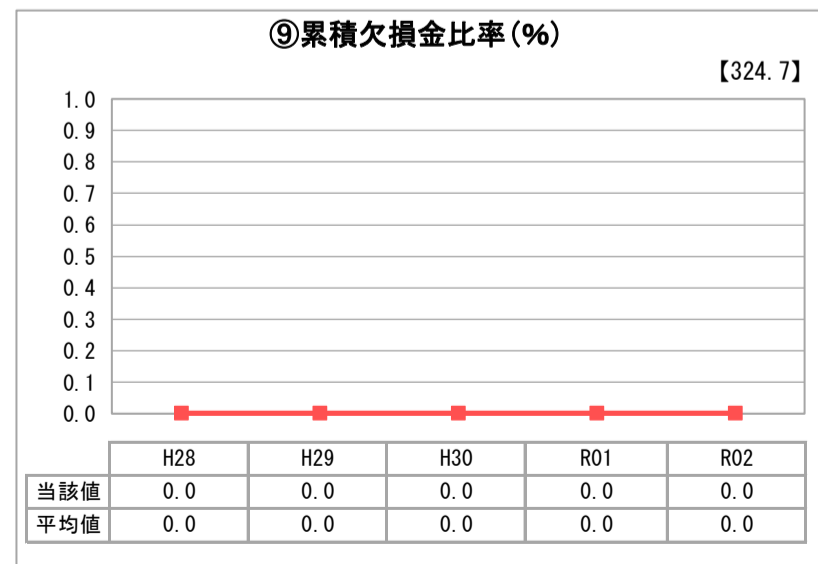


⑦敷地の地価(千円)

3

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について

【県営第二有料駐車場】(平面、月極)

当該施設は遊休地を活用した小規模な平面の定期駐車場(37台収容)である。近隣事業所の営業状況や住民の転居等で契約台数の増減はあるが、稼働率は概ね高水準で推移している。

- 売上高GOP(営業利益)比率
定期契約台数の減により昨年度から減少したものの、類似施設の平均値を上回っている。
- EBITDA(減価償却前営業利益)
施設規模が小さく定期契約のみで運営しているため利益は小さいが、概ね安定して推移している。

2. 資産等の状況について

- 有形固定資産減価償却率
土地は借地で平面駐車場として利用しており、有形固定資産はない。
- 企業債残高対料金収入比率
企業債残高はなく、自己資金により運営を行っている。

3. 利用の状況について

- 稼働率
令和2年度は定期契約台数が減少したが、稼働率は概ね高水準で推移しており、定期駐車場としての需要があると考えられる。

全体総括

有料駐車場は、平成28年度から指定管理者制度(利用料金制)を導入し、民間企業のノウハウを活用した運営を行っている。令和2年度は、定期契約台数の減少が生じたが、稼働率は概ね高水準で推移している。